



衣類の「シミ」について

汚れやシミには様々な性質が合わさっています。

例えばカレーのシミ・・・

「水性のシミ」・肉の油等「油性のシミ」・香辛料の「色素のシミ」・頑固な「漂白のシミ」等
このように一つのシミの中には、複数の種類の性質を持つ「シミ」が混ざり合った状態になっています。

シミを性質で分けると、「7つの性質」に分類することができます。



【七つのシミの性格】

シミの種類	シミの原因となる物	特徴
水性のシミ	醤油・コーヒー・ジュース 酒類等	水に溶けやすいタイプのシミ 付いてすぐだと水洗いで落ちやすいが、 時間が経つと酸化して「漂白のシミ」に変わる。
油性のシミ	チョコレート・口紅・ 機械油・食用油等	油に溶けやすいタイプのシミ。水洗いだけでは落ちない事が多い。 時間が経つと、「漂白のシミ」に変わる
不要性のシミ	泥・墨汁など	水にも油にも溶けないシミ。家庭で落とすのは難しい しみ抜きは物理的な方法、 (手もみ洗い・歯ブラシで擦る等)が効果的
樹脂のシミ	絵の具・ペンキ・接着剤	油性のシミの中で特に頑固なシミ。ついてすぐなら 家庭で落とせる場合もあるが 完全に乾いてしまうと困難。
水性のシミ	赤ワイン・果物・マーカー	色の濃い食品やインク等に含まれている色素は、 家庭で落とすのは難しい。
タンパクのシミ	血液・肉・卵・牛乳	カビの原因となるシミ。時間の経過や熱を加えることで「不要性」 や「漂白」のシミとなり、家庭で落とすのは困難になる。
漂白のシミ	古いシミ・黄ばみ 色移りしたしみ	水性や油性のシミが酸化して変質した、頑固なシミ。 漂白の処理を必要とするシミ。 「黄ばみしみ抜き」とご用命下さい

★「しみ抜き処理」まとめ&ポイント

- 1) しみ抜きには、そのシミに合ったしみ抜き方法があります。
判断を間違えると余計に取れなくなってしまうので、正しい処理方法で行う事が大切です。
- 2) シミは全般的に、熱がかかったり時間の経過で酸化して変色する特徴があります。
シミがついてしまったら、早めの処理が大切です。
酸化してシミが変色してしまうと、漂白を行うかそれでも取れない事もあります。
- 3) シミの種類にもよりますが、家庭でのしみ抜きも充分可能です。
が、**家庭でのしみ抜きはリスクと背中合わせで無理は禁物です。**
衣類に擦れ・脱色を起こす場合があります。
- 4) 衣類の価値（お気に入りや高価な衣類 or 普段着）や衣類の素材、シミの種類やシミの場所等、
が家庭でしみ抜きをするのかプロに任せるのかの決め手になります。
- 5) **当店では、経験豊富な「しみ抜きのプロ」がしみ抜きを行います。**
しみ抜きに自信あり！！遠慮なくご相談ください